

## 第21回ジャパンオープンハンドボールトーナメント

## 試合結果・戦評報告書

競技日	8月 8日 (月)	試合番号	C-タ	回戦	決勝
種別	女子	会場	西条市総合体育館		
Aチーム名			Bチーム名		
香川銀行T・H			HC和歌山		
得点合計	小計		小計	得点合計	
25	15	前半	6	13	
	10	後半	7		
		第1延長前半			
		第1延長後半			
		第2延長前半			
		第2延長後半			
		7mTC			

## 戦評

女子決勝戦は、JOT10連覇を狙う香川銀行T・Hと2年越しで初の栄冠を狙うHC和歌山という、3年連続同じ対戦カードとなった。

HC和歌山⑩加陽のサイドシュートによる先制点で試合の火蓋が切って落とされた。その直後、香川銀行が⑪國方、⑬荒木で4連取すると、HC和歌山が場らずT.Oを請求した。パス回しから⑤中村のステップシュートで応戦するが、香川銀行のアグレッシブなディフェンスからの速攻により8点差となる。前半残り10分間は、両チームとも集中したディフェンスやGKの好セーブなどにより一進一退の攻防を展開し、前半を15対6の香川銀行リードで折り返した。

後半立ち上がり、HC和歌山は連続して退場者を出してしまうが、⑨長尾のミドルシュート、GK大串の勝負強いキーピングで香川銀行を勢いに乗らせない。後半23分まで両者一步も譲らず、膠着状態が続いたが、試合終盤、香川銀行⑩土井、②重信、⑪國方、④石川の4連続得点により食らいつくHC和歌山を一気に引き離した。要所で連続得点を挙げ、試合を優位に進めた香川銀行に軍配が上がり、10年連続10回目の優勝を果たした。連戦を戦い抜いた両チームの健闘を称えたい。

(JOT愛媛大会 女子決勝 香川銀行T・H-HC和歌山)



記載者氏名

古澤 龍也

送信日時

8月 8日 (月) 18:06

送信者サイン

古澤 龍也